

## 第4回三次市学校給食調理場整備計画策定委員会における意見の概要

- 1 開催日時 令和元年12月20日(金) 13時30分～16時30分  
三次市生涯学習センター「交流ホール」

### 2 意見の概要

#### 会議録の公開について

- ◇ 発言者の氏名を伏せた状態で、会議の流れが分かる形での公開の事務局提案に異議なし。

#### 委員会の公開・非公開について

- ◇ SNSなどで非常に批判的なものを書かれるなどの危険性が排除できない。
- ◇ ここまで騒がれると公開されてもいいが、発言出来なくなる委員が出てくるのが心配。
- ◇ 関心も高くなり、これまでの手順について事務局と保護者の間で認識の違いがあるように思うが、公開することとしても良い。

#### 意見陳述希望者の取り扱いについて

- ◇ 意見を聞くこと自体は良いが、回答は出来ない。意見に対して議論することは出来る。
- ◇ 各委員も時間の無い中集まってきているので、時間を限るなら対応しても良い。時間を多くとるようなら、事前に文書等で資料をいただきたい。
- ◇ 「考える会」は一部の地域の方のようだが、子供のためになるような給食をということなら、「考える会」として一部ではなく保護者全体に働きかけてみられてはどうか。
- ◇ 最終的な決定機関でないので、意見を聴くことには意味がない。
- ◇ 他の団体から意見が述べたいと申し出があった場合、同様の取り扱いをすることとなれば、とりとめが無くなる気がする。
- ◇ 文書と口頭では、受け手の捉え方が違うので、「考える会」の方は口頭で意見を言いたいのではないか。
- ◇ 要望書の中身は、本委員会ではなく、教育委員会事務局に対してのものが多と思う。質問回答などは事務局で対応され、その報告を本委員会にしてもらえれば良いのではないか。
- ◇ 建設的な意見ではなく、上げ足を取るような質問が多く見受けられるが、それを本委員会で聴いても、対応・回答のしようがない。
- ◇ 当初予定の5回で意見の集約を行うことが出来なくなるため、意見を述べてもらう場は設けず、予定通り5回で意見集約を行っていく。

#### 第3回の感想のとりまとめについて

- ◇ 「三次市の子供のための学校給食であるべきもの」の部分はストレートすぎて分かりづら

い。文脈として前後に何かあったのではないかと思う。

- ◇ 短く箇条書きにすると、話の前後関係が分からなくなるので、趣旨が伝わりにくくなる。
- ◇ 「この会が4000食1箇所に通導するように流れが設定されている気がする」と言ったと思うが、載っていない気がする。

#### 第1回から第3回の意見集約について

- ◇ 意見書としてまとめられるのであれば、本日分も含め事前送付できれば、目を通すこともでき、時間的にも短く済み意見も出やすくなると思う。
- ◇ 意見の趣旨が伝わるまとめ方を行っていただきたい。

#### 資料14の説明を受けて

- ◇ 市やその施設管理者は、子供の命にかかわり、重大な責任を負っていると思う。施設管理を行う上で、現在の調理場のままではいけない。
- ◇ 当初の建築費のみでなく、施設、調理器具の更新時期に、同様の費用がかかることを踏まえ、箇所数の検討を行う必要がある。
- ◇ 調理場を分散した場合、現在と同様、場長は校長が担っていかなければならない状況となるのではないか。
- ◇ 本市も昭和47年災害のことを考えると、水害に備え、安全な場所を確保する必要がある。
- ◇ 調理が出来ない状態になった時、複数箇所整備していれば、他のところを賄うことは出来ないが、対象の子供の数を減らすことは出来る。
- ◇ 1箇所で管理し行政が全て責任を負うべきと考えるが、アレルギー対応などのことを考えると、施設規模が小さい方が対応できる幅が広まるのではないかと思う。
- ◇ アレルギー対応は、これまでの経緯等も踏まえて、最大限対応できるよう今後検討していってもらえばいいのではないか。
- ◇ 東酒屋の中央病院付近が安全性も高く、候補地として挙げられているが他にもあるのか。  
事務局→ 他にも候補地はある。
- ◇ 塩町中学校や・八次中学校付近では、安全性の高い建設可能な市有地はないのか。  
事務局→ 塩町中学校付近は把握していないが、八次中学校付近には種鶏場跡地などがある。
- ◇ 資料14について、1箇所を4箇所にする事で費用面が増えるが、4箇所にするメリットは聞いているのか。  
事務局→ 災害時や食中毒発生時のリスク分散や、近場での野菜等の食材が入れやすいと言ったご意見を伺っている。

しかしながら、災害については災害に遭わない対策、食中毒の問題については発生させないことが第一であり、ソフトハードの両面から徹底した衛生管理を行いたいと考えている。施設を複数箇所整備した場合のリスク分散については、一定程度期待は出来るが被災しない、事故をおこさないという対策に注力すべきと考える。

- ◇ 国が全面的に負担するなど、将来三次市内で生活する市民の負担の無いやり方があるのなら、4箇所や3箇所でも良いと思った。

### アレルギー対応について

- ◇ アレルギー対応は統一した基準が必要と思われる。
- ◇ 笠岡市などは、4000食規模であるが、7品目のアレルギー対応がなされている。
- ◇ アレルギー対応についての体制づくりについて、場長は常駐、栄養教諭（栄養士）は複数配置とすることで、危機管理の徹底や緊急対応が行えるのではないかと。
- ◇ 大規模な調理場になり配送校が増えた場合、栄養教諭（栄養士）の数も少なく現場に向けなくなるため、アレルギー対応食を受け取る側の学校が相当意識をもって対応しないと、事故が発生する恐れがある。
- ◇ 現在のアレルギー対応を変えた場合、就学後は保育所と同様の対応にはならないという事を、理解してもらえるか心配である。
- ◇ アレルギー対応は、基本的に除去食対応であり、代替え食や複雑な調理など、無理な対応をすると事故につながるリスクが高まる。
- ◇ 大規模校であれば喫食の場面まで栄養士が確認を行うことは出来ないため、学級担任等、全教職員がかかわっていく必要がある。
- ◇ 事故防止のため、調理場との連絡がすぐ取れる体制、栄養士や配膳員など、ある程度の知識・理解のある人が関わるような体制づくりを行う必要がある。

### 地産地消について

- ◇ 施設規模や建築場所、運営体制などを踏まえて、どのような供給体制が良いか考えていくべきものであって、現段階では打ち出せない。
- ◇ 生産者と調理場など市も含めて全体の中で、生産者やJAがどういった支援が出来るのか、議論する場を改めて設ける必要がある。

### 多機能化について

- ◇ 親子クッキングなどを行う調理スペースは、地域のコミュニティーセンター等にもあり、既存施設で行えばよいのではないかと。
- ◇ 子供たちに大きな釜を実際見せることができるので、見学コースはあるべきと思う。
- ◇ 備蓄というのは良いと思う。本当に何が必要なのかを、精査しながら建築を進めるべきである。

### 食育について

- ◇ 家庭や食生活も多様化しており、市として栄養指導というものをしっかりと考えてもらいたい。
- ◇ 栄養指導等は、市が設置者・実施者として、方針や体制作りを行ってもらいたい。

### その他

- ◇ 栄養士が本来の業務に専念できる体制を整備すべきである。